



印西市

議会 だより

第175号

平成28年(2016年)2月

発行 千葉県印西市議会

編集 議会だより編集委員会

〒270-1396

千葉県印西市大森2364-2

TEL 0476-42-5111(代)

FAX 0476-42-5299

メールアドレス

gikai@city.inzai.lg.jp



「平賀干拓の白鳥」(旧印旛村) 撮影者:根本 巖さん [撮影時期]平成27年2月

第

4

回

定例会

平成
27年

会期11月30日
～12月18日

第4回定例会は会期19日間で開かれました。

今定例会では条例の制定が3件、一部改正が4件、平成27年度補正予算が3件、その他11件の計21議案のほか、報告1件、同意1件、選挙1件、議員提案による発議案が3件、陳情2件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。なお、議案などの議決結果については、9ページに掲載しています。

目次

P2～7 議員17人が市政を質す
一般質問(個人質問)

P6～7 発議案
請願
陳情

P8 常任委員会の審査内容

P9 議案と審議結果一覧

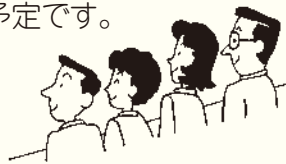
P10 3常任委員会行政視察報告
編集後記

議会を傍聴してみませんか

第1回定例会は、2月15日(月)～3月16日(水)の会期予定です。
午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合もあります。

詳細については、お問い合わせください。



第1回 定例会会期予定及び日程

日	月	火	水	木	金	土
2/7	2/8 議会運営 委員会	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13
2/14	2/15 本会議 (議案上程)	2/16	2/17 本会議 (会派代表質問)	2/18 本会議 (会派代表質問)	2/19 本会議 (個人質問)	2/20
2/21	2/22 本会議 (個人質問)	2/23 本会議 (個人質問)	2/24 本会議 (個人質問)	2/25	2/26 予算審査 常任委員会	2/27
2/28	2/29 予算審査 常任委員会	3/1 予算審査 常任委員会	3/2 予算審査 常任委員会	3/3 予算審査 常任委員会	3/4 総務企画 常任委員会	3/5
3/6	3/7 文教福祉 常任委員会	3/8 建設経済 常任委員会	3/9	3/10 本会議 (予算の採決)	3/11	3/12
3/13	3/14	3/15 議会運営 委員会	3/16 本会議 (議案の採決)	3/17	3/18	3/19

※常任委員会等の開会時間はお問い合わせください。

【印西市議会事務局】 ☎0476-42-5111(代) 内線607・608

一般質問

《一般質問とは》

議員が、市の一般事務について、議長の許可を得て市長などに聞くものです。

今定例会では、17人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

ここでの掲載記事は、各議員本人が作成したものを掲載しています。

なお、詳細な議事録の閲覧については、3頁下段を参照してください。

個人質問

止まらぬ児童数の減少 小規模校対策はあるか

櫻井 正夫

質問1 猟友会の高齢化に伴い、民間業者に委託することを検討しているか。

環境経済部長 認定鳥獣捕獲等事業者制度が導入されたことから、都道府県知事の認定を受け「指導管理鳥獣捕獲等事業」などの公的な捕獲事業に参入できるようになった。

平成27年11月25日現在「認定鳥獣捕獲等事業者」が県内にいないことや印西猟友会との連携が図られていることから、現時点では印西猟友会との委託を継続していきたいと考えている。



質問2 印旛地区にある宗像小学校の児童数の減少が著しいが、歴史と伝統ある地域の学校を廃校にさせたくないと考えている。他の地域からスクールバスを走らせるなどの対策によって、宗像小学校の児童数を増やすことはできないのか。

教育長 小規模校における適正配置の実施方法について、教育委員会では、まずは隣接校との統合を考えており、既存の学区を分断したり、小規模校への就学希望者を越境入学させることは基本的には考えていない。

質問3 旧印西方面から西佐倉印西病院に行くには日本医科大学千葉北総病院から京成臼井駅を結ぶ宗像路線のバス停から、数百メートル歩く必要がある。1日数便でいいので、病院の前まで入ることはできないか。

企画財政部長 宗像路線の「西佐倉印西病院入口」のバス停は、県道千葉臼井印西線沿いにあるため、病院まで約500mの距離がある。この提案については、病院利用者にとって大きな利便の向上に繋がるものと思われることから、運行事業者に話をしている。

個人質問

まずは地区ごとの 生活実態調査を

増田 葉子

質問 介護保険法の改定で、介護予防は、地域住民が主体となり担っていくなくてはならない。将来の介護リスクが高い高齢者は全体の3割近くで、今後の介護予防のやり方を改めて考えていく必要がある。これからどうするのか。

市長 より多くの住民に健康づくりや介護予防に関心を持ってもらえるような事業に取り組んでいく必要がある。

再質問 これまでの介護予防事業への参加状況はどうか。

健康福祉部長 介護予防として5つの事業を実施してきたが、定員を満たさない事業もあり、廃止を検討している。一昨年から始めた、住民主体の「いんざい健康ちよきん運動」を推進したい。

再質問 将来の介護リスクが高い人や、介護予防への参加者を小学校区など地区ごとに把握しているか。

答弁 把握していない。



再質問 将来の介護リスクが高い高齢者は、船穂・牧の原地区に多いなど、大きな圏域ごとに傾向を示す調査結果がある。船穂・牧の原地区についても農村部もあればニュータウンもある。さらに小さい単位で高齢者の生活実態を把握していくことが重要だ。調査の必要性をどう考えるか。

答弁 実態調査の必要性は認識している。

再質問 独居高齢者の2割が要支援認定を受けているという調査結果もある。これも、全体で把握するのではなく、地区ごとに把握していかねければならない。介護保険は本来、家族介護を社会で引き受けていくという「生活の支援」だったが、介護予防以降「体の支援」にすり替わり、生活の支援を忘れている。ここで立ち戻り、生活支援と介護予防を一体で考えていくべきだ。地域の生活支援をコーディネートする人材は保健師において代わりはないと考えるが、いかがか。

答弁 ご意見を踏まえ、これから検討していきたい。

◆その他の質問

○特別支援教育と子ども発達センターの役割

個人質問

住みよさを 実感できる市に向けて

海老原 作一

質問1 市長として住みよさを実感できる市にするため、どの様に考えているか。

市長 市民にとって重要度の高い項目に係る施策を推進し、満足度が高まるよう、まちづくりに取り組んでいきたい。また、第2次基本計画案では、6つの分野で基本目標を掲げ、目標達成のため、44本の施策を具現化するための各事業を確実に推進していくことで、市民の満足度を高め、結果として、住みよさを

実感していただけるものと考えている。

再質問 中でも特に関心を持って取り組むところはどこか。

答弁 すべての分野にバランスのとれたまちづくりが望まれるが、特に申し上げるならば、生涯生き生きと健やかに暮らすための健康づくり、安心して子育てのできる環境づくり、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む教育環境づくり、お願いをしている。



くりの推進である。

質問2 空き家対策について、現在の体制で十分な対応ができるのか。

都市建設部長 それぞれの空き家の問題に同じ関係各課連携して対応してきたが、より迅速に市民からの相談に対応できるように、総合的な窓口を都市建設部建築指導課とした上で空き家の問題を関係各課に振り分け、今まで以上に迅速に対応していくことを考えている。

再質問 空き家対策の特別措置法という特定空き家かどうかの判断がなされる以前の段階で可能となる市の対応は何か。

答弁 その空き家の問題に応じて、関係各課で連携した上で現地を確認し、建物所有者に対して、近隣住民からの苦情等に対応してもらえよう、お願いしている。

再質問 印西市内における空き家の効果的実態調査について。

答弁 他市町村で実施された住宅地図やGISなどのデータによる空き家候補の抽出や、住宅地図会社への調査委託及び自治会・町内会への照会等、多様な方法を検討している。

空家・UR空室を 高齢者住宅、市営住宅に

個人質問

山田 喜代子

質問1 「印西市住生活基本計画」は策定後3年が経過した。住宅施策の課題のひとつに空き家・空室対策がある。

質問2 教職員の労働実態①療養休暇や休職の取得状況②年次休暇の取得率及び取得の少ない教職員は。③時間外労働をどう改善していくのか。

教育長 ①595名中、療養休暇取得者は3名。全て一般疾病。休職者は3名で、一般疾病が1名、精神神経が2名。②平成24～26年の平均で小学校は14・4日、中学校は11・5日。少ない教職員は小学校で3日、中学校で0日。

③来年度以降、個別に出退勤時刻を記録し、管理者が勤務時間の適正な管理や指導をすることが出来るよう、改善を図っていきたいと考える。

都市建設部長 市全体の空き家率は26・5%、ニュータウン



質問3 高齢者福祉について―介護現場の人手不足対策を。厚生労働省の試算では平成25年度には約248万人の介護人材が必要となり、現状のままで約30万人の人材不足が生じるとしている。資格取得の研修支援等の補助制度を生かした人材育成の取り組みが必要だ。どう取り組んでいくのか。

健康福祉部長 市においても、来年度より制度を視野に入れ実施する方向だ。予算要求している人数は10名だ。

マイナンバー制度 介護・保育一体施設

個人質問

稲葉 健

質問1 マイナンバー制度に向けての市職員の具体的な教育対応について伺う。

総務部長 全職員に対して、

制度に関する情報提供の他、特定個人情報等の取扱い等に関する説明会を実施。個人番号の収集や保管方法又は、人事給与システム等の改修を含めて、個人番号関係事務に関して庁内関係課と検討している。

再質問 住民基本台帳カードの取扱いについて伺う。

市民部長 住民基本台帳カードをお持ちの方がマイナンバーカードの交付申請をされた場合、引き換えになる。

再質問 マイナンバーカードの交付を希望しない場合、現在使用している住民基本台帳カードの有効期限はどうなるのか。

答弁 マイナンバーカードの交付を希望しない場合、住民

基本台帳カードは、その有効期限までは本人確認書類として引き続き利用する事が出来る。

再質問 ホームページでマイナンバー制度についての説明を充実してはもらえないか。

総務部長 市民の皆様にとってよりみやすいものとなるように検討する。

質問2 「共生型施設」の普及について。

健康福祉部長 国においても平成28年度早々にも当該共生型施設の人員配置などの運営方針等を自治体や事業者に示す予定であり、今後の検討課題としたい。

◆その他の質問

○18歳選挙に向けての対応
○印西市健康増進・食育推進計画



マイナンバーカード



印西市の防災状況について

個人質問

小川 利彦

質問 常総市への支援について。

総務部長 印西市では常総市に連絡を取り食料と飲料水が不足しているとの情報を得たことから、市の災害備蓄食料のうち、アルファ化米を2500食、飲料水12000リットルを9月15日に直接届けた。

再質問 印西市ほどの財力があれば、他の支援や物資の提供ができたのでは。

答弁 常総市から要請のあった物資のニーズと、現場の避難者のニーズが乖離しており、本当に避難者が必要としている物資が届かなかった。

再質問 常総市の水害で、印西市として何を学んだのかについて。

答弁 常総市での水害の教訓としては、市内の地域ごとに、どのような災害リスクが

あるのかを、洪水・土砂災害ハザードマップ等により、日頃から把握して頂くように、市民への啓発を進めること

や、市としての気象情報などの災害に関する情報を正確に得ることにより、避難勧告・避難指示等をいち早く市民に伝えることの大切さを学び、今後の災害に備えたいと考える。

再質問 印西市の今後の防災行政について。

答弁 防災・減災の基本的な考え方としては、自助・共助活動が主となることから、その普及啓発や自主防災組織の結成促進及び地域での防災訓練の充実を図っていききたいと考える。また、市の取り組み

としては、防災拠点や災害時における情報伝達手段の整備などに努めていききたいと考える。

再質問 印西市の取り組みの詳細について。

答弁 防災拠点の整備については、各種防災資機材などの備蓄や消防施設の整備を進めていく。また、災害時における情報伝達機能の充実を進めていききたいと考えている。

◆その他の質問

○印西市の財政



会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。なお、従前どおり、会議録は次の場所で閲覧できます。

第4回定例会の会議録は、3月上旬頃閲覧開始予定です。

◇議会事務局(市役所5階) ◇行政資料コーナー(市役所1階)
◇支所(印旛・本埴) ◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埴)

個人質問

児童虐待防止について

玉木 実

質問1 印西市における児童虐待通告の状況について。

健康福祉部長 平成25年度18件、26年度33件、27年度は10

月末現在で24件。相談件数は25年度193件、26年度は265件、27年度は10月末現在201件である。「心理的虐待」「身体的な虐待」「ネグレクト」が主な種別である。

再質問 児童虐待の要因は。

答弁 誰にも相談できずに孤立する場合、「養育環境の問題」「養育者の問題」や「子どもの状況」など様々な要因が絡み合っている。

再質問 児童相談所との連携について。

答弁 市だけの対応が困難な場合、児童相談所に送致、援助依頼している。

質問2 印西市立9中学校における課外活動の実状について。

部活動の加入率と活性化のための外部指導者の派遣。

教育長 中学生2530名のうち部活動加入者は2254名で、加入率89%である。昨年度の外部指導者は22名で、土日を中心に平均30日。今年度は11月現在23名派遣している。

再質問 部活動補助金について。

答弁 昨年度は1部活あたり4万円を上限として、404万4309円の交通費等の補助を行った。また、関東大会、全国大会に出場した6校の交通費宿泊費317万662円の補助を行った。今年度は上限を5万円に改訂した。

質問3 マンション問題について。問題になっている杭打ち偽装申告について。

都市建設部長 印西市の公共施設においては無い。

再質問 平成20年にマンションアンケートを行った結果と対策。

答弁 大変好評だったのでホームページで公表している。対策として管理セミナー、交流会やマンション管理士派遣事業を行っている。今年度も集合住宅管理組合実態調査を実施している。

個人質問

肺炎予防・子育て支援
メタボ予備軍対策

浅沼 美弥子

質問1 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種状況を伺う。

健康福祉部長 平成23年度から26年度まで市独自助成による接種は3557人、接種率平均5・9%。昨年度定期接種は2199人、接種率56・9%。

再質問 65歳だけ見ても接種率が5%上がることで医療経済効果は2200万円と推計される。見解を伺う。

答弁 接種率向上による医療費削減効果は確実に見込まれると認識している。更なる接種率の向上に努めたい。

再質問 終了前に未接種者に対し、再度個別通知を送付するコール・リコール事業を導入する考えはないか。

答弁 近隣自治体の状況等も把握しながら検討していきたい。

質問2 子育て支援について伺う。①ひとり親家庭に支給される児童扶養手当の2人目5000円、3人目以降30

00円の加算額は低すぎないか。市独自加算の考えはないか。②企業で子育て支援を支える取り組みとして「くるみんマーク」やマタハラ（マタニティハラスメント）（※1）の周知について伺う。

健康福祉部長 ①国の方針に基づき支給していきたい。②くるみんの認定基準や優遇措置、マタニティハラスメント等ホームページ等を活用し周知に努めたい。

質問3 メタボ予備軍対象者が県内ワースト2だが原因、対策を伺う。

健康福祉部長 平成25年度のデータの分析から、印西市は同程度規模の自治体と比較すると、「体重が20歳の時から10キロ以上増加している人が多い」「就寝前の2時間以内に夕食をとる人が多い」という状況がみられる。対象となる人を明確にした健康教育の実施、さらに、多くの市民が参加しやすい事業の実施により生活習慣病

予防に努める。



子育て支援に熱心な「子育てサポート企業」として国に認定されると与えられる証。

※1：妊娠・出産による精神的・肉体的なハラスメント。

個人質問

青パトや防犯カメラ設置で
地域防犯の強化を

中澤 俊介

質問 現代社会では、犯罪における手口の多様化や凶悪化などが大きな問題となっている。犯罪から、市民の大切な生命・財産を守る上で必要不可欠なのが防犯体制であり、地域防犯の強化は喫緊の課題と考える。印西市においては、それぞれの地域で防犯組合が組織され、昼夜を問わず活動されているおかげで、犯罪件数が着実に減少している。しかしながら、高齢者や子どもを狙った犯罪が未だ発生していることも事実であり、暮らしの安心・安全の観点から防犯組合の支援について伺う。

再質問 青パトによる、防犯パトロールの効果や配備計画はどうか。

答弁 青パトによる防犯パトロールは、市職員・業務委託・防犯組合各支部指導員により実施している。近年、市内の犯罪件数は減少しており、パトロール実施による効果とされている。なお、防犯組合の本部に青色回転灯の固定式車両が1台、中央駅南支部に青色回転灯の着脱式が5台あり、今後、各支部で配備する計画があると聞いている。

再質問 防犯カメラの抑止力効果はどうか。

答弁 防犯カメラを設置し周知することで、犯罪抑止や犯罪捜査への貢献が期待される。

再質問 我孫子市や船橋市等では、防犯カメラを設置する町会・自治会、商店会、事業所、私立保育園・幼稚園、自主防犯活動団体等に対し、1台あたり20万円程度を限度とした設置費用の一部を補助する制度があるが、本市ではどうか。

答弁 設置に関しては、犯罪件数・犯罪内容・発生地区の状況から、補助事業の有無を検討するとともに補助制度について調査・研究していく。



青パト…青色回転灯装備車

本会議がスマートフォン・タブレットでも視聴可能になりました



印西市議会では、インターネットによる本会議のライブ中継及び録画中継を実施しています。これまでパソコンからでしか視聴できなかった議会中継が、スマートフォン及びタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。

なお、録画中継は、ライブ中継終了後、通常4日後（土・日・祝日を除く）より視聴いただけます。

※Windows パソコンで視聴するには、Flash Playerが必要となります。

Flash Playerのダウンロード（無料）は<http://get.adobe.com/jp/flashplayer/>から

個人質問

小学校の英語教科化へ
準備は進んでいるのか

山本 清

質問1 小学校の英語の教科化に向けて、どんな準備をしているのか。カリキュラム編成、教員の確保・養成、教材開発はどんな状況か。

教育長 平成28年度に、小学校3校程度を研究校に指定し、外国語活動授業実践の研究を行い、平成29年度以降には他校の教員に対し研修会で授業実践を広げることができるよう、教育養成と研究を進めていきたい。カリキュラム編成、教材開発については、国が現在作成中の学習指導要領に基づき対応していきたい。また、教員の確保については、県が行うことになっているので、市としては英語を教えることのできる教員の要望をしてまいりたい。

再質問 市が20周年記念事業として計画している小中学生英語弁論大会、中学生のオーストラリア研修は、英語を使う



2020年度から、英語が小学校5・6年生の「教科」になる

場を作る良い企画だと思ふ。場を作る、という意味で、地元の中学で小学生が英検を受験できるようにしてはどうか。

答弁 そうすると、小学校から引率する、ということになるため、難しいと考えている。

質問2 滝野地区、高花地区への商業施設誘致について市はどのように動いているのか。

環境経済部長 滝野地区については、都市再生機構に対して強く要望してきた。今、出店を検討している業者がある、とのことだ。高花地区についても、施設を管理運営する千葉ニュータウンセンターに対して積極的な対策を講じるよう強く要望してきた。

質問3 横断歩道の破損について、どんな働きかけをしてきたか。

市民部長 今年度、県市長会を通じて、補修への予算措置を県警に要望してきた。

再質問 県の事業であるニュータウン事業によって、横断歩道が傷んでおり、県はこのことを考慮するべきだ。そのように、県に対して強く訴えているのか。

個人質問

地球温暖化対策・
景観計画・高齢者福祉

松尾 榮子

質問1 地球温暖化対策について。国連国際防災戦略の報告によると1995年から2015年までに洪水や干ばつ等気象関連災害による死者は世界で60万6000人、負傷や住居を失うなどの被災者は41億人に上るとのこと。地球温暖化への対策は一刻も早く全地球的に取り組まなければならぬ課題である。①太陽光発電システム補助事業の実績は②大型生ごみ処理機実証実験の今後はどうか。

環境経済部長 ①平成26年度末で太陽光発電システムが1229機、太陽熱利用システムが46機であり、年間約300万kg、約1687世帯1年分の電力消費量を発電している。②ごみ減量化調査のため実証実験を来年3月まで2年間実施中。実験終了後検証結果をまとめた。処理機については協力マンション管理組合と協議し結論を出したい。

質問2 景観計画について。新市としての一体性と地区ごとの良さを生かした魅力あふれる印西市の創造に向けて①景観計画の基本方針②今後のスケジュールは。

市長 ①「規制」だけでなく良好な景観を「守る・創る・育てる」を基本方針とする。②平成27年度、景観基礎調査、28年度、景観基本計画、29年度、景観計画策定、景観条例の制定を予定している。

質問3 高齢者福祉（認知症対策）について。市内では認知症の高齢者1500人のうち1200人が在宅で過ごされているとのことだが、近年は独居も多い。一人暮らしの認知症の方や老老介護、認知症への支援は。

健康福祉部長 相談窓口として地域包括支援センターの周知を図っていく。今年度から認知症や介護の方が集い情報交換や相談ができる「いんざいオレンジカフェ」を開催。継続的に支援していく。

◆その他の質問

- 師戸川・印旛沼の水質保全
- 市有施設の屋根等を活用した太陽光発電事業の現状
- 高齢者施設整備と入所者の状況確認、他。

個人質問

リハビリ環境の充実と
学校規模の適正化を

軍司 俊紀

質問1 印西市におけるリハビリテーションについて①生和会が返上した病床は県の審議会で公募・再配分の議論はされているか②成田市では特区で医学部を設置し、病院を開設するとの報道があるが印西市はどう考えているのか③印西総合病院のリハビリ病床の稼動状況はどのようになっているのか。

健康福祉部長 ①議論されていない。②今後、動向を注視していく。③病床は40床あり、今後、稼動状況も上がっていくと認識している。

質問2 保育園の運営について①時間外保育料をとらないという判断はできないのか②都市間競争がある中で、子育て支援の観点から政策的に時間外保育料を取らないという選択肢はないのか。

健康福祉部長 ①受益者負担による公平性の担保の観点と近隣市の状況等から徴収すると判断した。

市長 ②健康福祉部長が答弁した通り。

質問3 学校適正配置審議会と保護者意見について①運動会・入学式で子どもが見えないと苦情が入るが、審議会で議論はされているのか②小倉台小学校では平成33年度に社を増含まず34学級が見込まれるが対応はどう考えるのか③東京電機大学移転後に学校施設をつくるべきではないか。

教育長 ①議論されていない。②通学区域の変更も含め検討する。③大学に相談の場を作っていたかどうか依頼する。

◆その他の質問

- マイナンバー制度（通知カードの現状と対応、所在不明時の対応、制度周知）
- 保育園の運営（認可外保育園利用者への補助制度）
- 北総鉄道（運賃値下げ、ホームドア設置による安全対策、利便性の向上）
- 放射能・放射線対応（甲状腺検査）
- 牧の原地区の将来（郵便局の誘致、商業施設、交通安全対策） 他



お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。

一般質問の閲覧

平成28年第1回定例会で予定されている一般質問（代表・個人）の内容は、2月9日（火）以降、ホームページに掲載しています。

個人質問

縦割りの打破・
マンション施策は横断的に

金丸 和史

質問1 データヘルス計画の進捗状況はどうか。

市長 国民健康保険団体連合会の協力を得て、今年度末までには策定する。

再質問 データヘルス計画とマイナンバー制度の関連付けは進んでいるのか。

市民部長 レセプトは医療費の分析資料として活用し、特定保健指導の充実に努めたい。

再質問 医療費削減のため、頻回受診患者訪問を行うべきではないのか。

答弁 適切に検討したい。
健康福祉部長 頻回受診対象者は改善指導をしていきたい。

再質問 訪問指導には保健師の活用が不可欠であり、新規採用も必要ではないのか。

市民部長 保健指導では健康福祉部健康増進課と連携して行っているが、不可欠だと考えている。



総務部長 考慮していきたいが、来年度の採用予定はない。

質問2 印西市で集合住宅に住んでいる世帯数の割合は。

都市建設部長 約1万5700世帯で、比率にして48・8%である。印西市の住宅形態の特徴となっている。

再質問 マンション管理組合に対する担当課を設置すべきと考えるがどうか。

答弁 各課が専門性を持ち、必要に応じて連携を強化し迅速に対応したい。横断的な施策展開は、今後、他市等を参考に調査研究する。

再質問 マンション等の集会所を防災拠点とすることを提案したいと考えるが。

市民部長 一時避難として地域防災計画の改定で検討する。設計が整い次第、当初予算または補正予算において確保していく。

再質問 管理組合を含め、コミュニティ組織への補助金制度を総合的に改めてはどうか。

答弁 将来的な制度見直しを視野に入れつつ、各制度の精査を進めたい。

◆その他の質問

- オリンピック誘致関連
- 学校問題対策指導員

個人質問

農家存続のために
米価の補償をすべきだ

伊藤 真一

質問1 今の米価では今後も休耕田が増えていくのは当然であり、市として価格補償が絶対に必要ではないのか。

環境経済部長 米価の下落は印西市農業に大きな影響を与えていると認識しているが、市独自の価格補償は困難である。国・県・JA(全国農業協同組合連合会)等と協力して需給調整が円滑にいくように、取り組んでいく。

再質問 一刻も早く対応しないと数年後には大変な状況が予想されるため、早急に価格補償を検討すべきである。

答弁 価格補償は困難だが、国・県の動向を注視して考える。
質問2 直売所の先駆けである「小林の朝市」「小林の夕市」について、印西市としての取り組みが必要ではないか。

環境経済部長 朝市・夕市については、地元でとれた新鮮野菜などを、地元で販売・消費する手法として、農産物直売所と同様に地産地消の推進に繋がるものと認識している。

再質問 小林朝市の集荷所について、東日本旅客鉄道(株)(以下「JR」と)と平成30年まで契約されているが、印西市での土地を買い上げた後も集荷所は残すのか。

都市建設部長 市が購入する用地については、道路用地として更地にした後に購入する協議をしている。朝市会とJRとの契約について、言及出来る立場ではないので、購入範囲の決定までに、朝市会とJRとの契約をどの様に進めていくのかを静観するしかない考えである。

◆その他の質問
○ 生活困窮者の「住宅扶助費」を引き上げるべきではないのか。
○ 障害者向け「日常生活用具給付」を受けられる資格についての確認
○ クリーンセンター移転の対応について、現状の確認



個人質問

ふるさと納税の現状と
地元業者への評価

米井 重行

質問1 ふるさと納税、品目の現状と今後の考えを伺う。
企画財政部長 納税の返礼品については、印西産のコメ、メロン、ナシなどの農産物を中心とした12品目のラインナップとなっている。また、品目数について、ご寄附頂いた方からも「返礼品目を増やしてほしい」という意見があり、今後、タイミングを計りながら、拡大していきたいと考えている。

再質問 農産物はどうのように返礼しているのか伺う。
答弁 黒豆のオーナー権を除く、農産物の返礼品については、生産者の公平性を担保する視点などから、JA西印旛農協と協定を締結し、贈呈している。

再質問 公平性という観点から、JA西印旛農協にお願いしているとのことだが、農協に出品しないで、農産物を組合的な方式で直売している生産者も市内には複数いると思われるが、その方たちへの公平性と、配慮に対する考えはどうなのか伺う。

答弁 今年度から始めた制度で、運用面や需要実績などでの検証も実施している。今後、返礼品目の拡大や運用面を検討する機会に併せて検討したいと考えている。

質問2 地元事業者・従事者には市の災害対策や市の施設の維持・美化をはじめ各種事業において、非常に積極的な理解と支援を頂いているが、災害時等の地元業者の協力に對し市の評価を伺う。

市長 地元業者により結成されている「印西市建設業災害対策協力会17社及び印西市造園組合12社」と災害応急対策に関する協定書を締結している。この協定により、降雪時の除雪作業など、市が管理する道路等の公共施設の機能確保及び回復並びに市民の安全を確保するため、迅速かつ的確な対応を行って頂いており感謝している。



◆その他の質問

- コスモス道路未買収地の状況
- イベント等の小学校との連携
- 市制施行20周年記念事業

「いんざい市議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています。

【題材】 印西市の四季折々の風景

【応募資格】 市内在住、在勤または在学の方

詳細については議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】 ☎0476-42-5111(代) 内線607・608



個人質問

災害廃棄物処理計画と
犯罪被害者等への支援

橋本 和治

質問1 利根川流域に位置する本市にとって、平成27年9月の鬼怒川の堤防決壊による被害は他人事ではない。災害からの復旧には、がれき等の廃棄物を速やかに処理する必要があるが、本市にはその計画がない。水害等もふまえた「災害廃棄物処理計画」を早急に策定する考えはないか。

市長 市として、市内全域を対象とし、水害を含め、より実効性のある計画を早急に策定しなければならないと認識している。現在、地域防災計画の見直しを行っており、それを踏まえ、平成28年度には、「災害廃棄物処理計画」を策定したいと考えている。

質問2 11月25日から12月1日は犯罪被害者週間だった。犯罪被害者等基本法では、地方公共団体の責務として、犯罪被害者等に対して、必要に応じた施策を策定し実施することとしているが、法律制定から10年、本市においてもその取り組みが十分とは言えない。犯罪被害者支援のために、（仮称）犯罪被害者支援条例を策定する考えはないか。

市民部長 犯罪被害者等（本人、家族、遺族を言う）は、ある日突然に、本人の意思とは無関係に、犯罪と言う理不尽な行為により、財産を奪われたり、身体を傷つけられたり、大切な家族の命を奪われたりするなど、強い恐怖感や精神的ショックを受けるなどの、直接的な被害を受けることになる。犯罪被害者等基本法では、地方公共団体に對し、「犯罪被害者等が受けた被害による経済的負担の軽減を図るため、犯罪被害者等に対する給付金の支給に係る制度の充実等、必要な施策を講ずるものとする。」と求めている。これらの施策を講ずるためには、本市としても条例の整備が必要であると考えている。犯罪被害者等が、必要に応じて適切な支援が受けられるよう、今後、財政的な検討も含め、平成28年度に条例の制定、29年度に施行に向け、取り組んでいきたい。



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギュッとちゃん」

◆その他の質問
○債権管理について

個人質問

平成28年度の予算編成と
重点施策について

岩崎 成子

質問 予算編成の基本的な考え方について伺う。

企画財政部長 平成28年度は、第2次基本計画の初年度にあたることから、目標年次の将来都市像の実現に向けた総括予算として確実なスタートを切ることが重要であると考えている。

再質問 予算の規模は。

答弁 現在編成作業中だが、平成27年11月25日現在で歳出総額約355億円、歳入総額約300億円である。

再質問 財政の見通しは。

答弁 歳入については、千葉ニュータウン事業の進展に伴い、ある程度の市税収入の増加は見込めるものの、普通交付税の段階的な縮減により、一般財源は減少するものと見込んでいる。歳出面では、扶助費等の経常経費の増加に加

え、給食センター整備事業などの普通建設事業にも取り組んでいく必要があるため、厳しい財政状況が続くものと考えている。

再質問 平成28年度の重点施策は。

答弁 印旛高跡地活用事業として（仮称）障がい者サポートセンター整備事業、（仮称）木下交流の杜公園の整備事業及び民間事業者による幼保連携型認定こども園に対する支援を行っていく。教育施設関係では平成27年度からの継続事業として、小・中学校普通教室の冷房化及び学校給食センターの整備を実施するとともに、トイレの洋式化に向けた設計委託等を予定している。その他、印西市災害廃棄物処理計画の策定、景観基本計画の策定、松崎吉田線に係る詳細設計及び一部用地取得等を予定している。



◆その他の質問
○公共交通の充実
○消防団の充実強化
○にぎわい創出のまちづくり
○市道山田・平賀線

発議案

▼第1号 複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書の提出について（可決）

複数税率による軽減税率の導入については平成29年4月の消費税率引き上げと同時に

行うこと及び、対象品目については、国民が受け入れやすく、痛税感を和らげる効果が高い食料品など、対象を幅広くすることを強く求める意見書を政府に提出するよう求めるもの。

▼第2号 印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

予算審査常任委員の任期を見直すことにより、当初予算及び当該年度の予算執行後に行われる決算認定について、

原則、同一の者が審査に当たれるよう、予算審査常任委員会の任期を、当該期間を毎年、第1回市議会定例会の開会日から翌年の第1回市議会定例会の開会日の前日までに改正するもの。

▼第3号 会派「市民」に對して政務活動費等の返還を求める決議について（可決）

会派「市民」は、平成24年度及び25年度に印刷機賃借料として23万7000円の政務活動費の交付を受けている。

しかしながら、これらは不正に請求され、支払われたものである。印西市として、会派「市民」に對し、不正受給した印刷機賃借料について自主返還を促し、これに応じない場合は、法的請求権を行使する。

すべきとするもの。

請願

▼印西市議会会派「市民」の政務活動費の返還を求める請願書

（総務企画常任委員会で継続審査となっていたもの・採択）

陳情

▼議会報告会開催のお願いについて（議員配付）

▼沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情（議員配付）

議会日誌

11月

- 2（月）印旛広域市町村圏事務組合議会定例会
- 10（火）全国市議会議長会評議員会
- 11（水）印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会・視察研修会（～12日）
- 13（金）議会改革推進特別委員会
- 20（金）議会運営委員会
会派代表者会議
長門川水道企業団議会定例会
- 27（金）議会運営委員会
- 30（月）第4回定例会（～12月18日）
議会だより編集委員会
全員協議会

12月

- 4（金）議会運営委員会
- 8（火）予算審査常任委員会
- 9（水）建設経済常任委員会
- 10（木）文教福祉常任委員会
- 11（金）総務企画常任委員会
- 14（月）議会改革推進特別委員会
- 17（木）議会運営委員会
- 18（金）議会運営委員会

1月

- 8（金）議会運営委員会
- 14（木）議会だより編集委員会
- 18（月）議会だより編集委員会行政視察（～19日）
- 20（水）千葉県市議会議長会役員会
議会運営委員会行政視察（～22日）
- 22（金）群馬県太田市議会会派「おおた政研クラブ」行政視察来庁
- 26（火）千葉県市議会議長会研修会
議会だより編集委員会

平成27年第4回定例会

議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥
※議長(小川義人)は採決に加わりません。

番 号	件 名	議決結果	伊藤 真一	稲葉 健	小川 利彦	玉木 実	米井 重行	櫻井 正夫	浅沼美弥子	岩崎 成子	海老原作一	近藤 瑞枝	酢崎 義行	中澤 俊介	藤代 武雄	増田 葉子	松尾 榮子	山本 清	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田喜代子	橋本 和治	小川 義人
《 議 案 》 （ 市長提出議案 ）																								
議 1	印西市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	可 決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議 2	印西市木下交流の杜広場の設置及び管理に関する条例の制定	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 3	印西市木下交流の杜歴史資料センターの設置及び管理に関する条例の制定	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 4	印西市税条例の一部を改正する条例の制定	可 決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議 5	印西市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定	可 決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	—
議 6	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可 決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議 7	印西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可 決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	—
議 8	平成27年度印西市一般会計補正予算（第4号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 9	平成27年度印西市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 10	平成27年度印西市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 11	指定管理者の指定（中央駅北コミュニティセンター）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 12	指定管理者の指定（中央駅南コミュニティセンター）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 13	指定管理者の指定（永治コミュニティセンター）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 14	指定管理者の指定（船穂コミュニティセンター）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 15	指定管理者の指定（木下学童クラブ）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 16	指定管理者の指定（六合学童クラブ）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 17	工事請負契約の締結（小林駅南口自由通路建設工事）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 18	工事請負契約の締結（(仮称)新学校給食センター建築工事）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
議 19	工事請負契約の締結（(仮称)新学校給食センター機械設備工事）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	—
議 20	財産の取得（(仮称)新学校給食センター調理機器一式）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
議 21	工事請負契約の締結（(仮称)新学校給食センター電気設備工事）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
同 1	印西市監査委員の選任につき同意を求めること(武藤和義氏)	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
請27-3	印西市議会会派「市民」の政務活動費の返還を求める請願書	採 択	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	除	○	○	○	○	○	—
《 議 案 》 （ 議員提出議案 ）																								
発 1	複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書の提出	可 決	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	—
発 2	印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発 3	会派「市民」に対して政務活動費等の返還を求める決議	可 決	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	退	○	○	○	○	○	—

議会だより・
広報いんざいの
アプリ配信を
始めました！



QRコードからも
ダウンロード
できます。

■始めるのは簡単です

App Store・Google Playから「i広報紙」を検索しダウンロード。

お住まいの地域のほか、簡単な設定をします。

広報紙が画面のトップに表示されます。最新の広報紙も配信されます。

※このアプリケーションは㈱ホープが作成したものです。広告が掲載されますが、印西市とは関係ありません。
i広報紙の利用やシステムの質問は㈱ホープ ☎092-716-1404。

■こんな使い方もできます

① **かんたん** ホーム画面からタッチ一つで最新号が見られます。

② **スクラップ** 気になる記事は画像で保存。そのままSNSでシェアもできます。

③ **プッシュ通知** 発行日にはスマートフォンなどに通知が届きます。

